

---

# EVANGELION Normal Days

斬谷恭平

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

E V A N G E L I O N   N o r m a l   D a y s

### 【コード】

N 8 0 6 3 X

### 【作者名】

斬谷恭平

### 【あらすじ】

エヴァンゲリオン新劇場版と新世紀エヴァンゲリオンを基に描いて行きます。

内容は、映画で描かれている合間の日常を中心に書きます。キャラの性格は忠実に描こうと思いますが、何かしらの補正が入ってしまうかもしれません。ご了承下さい。

( 誤字脱字、文の不明瞭な点は適宜修正いたします )

## 1 - 1 料理

第三新東京市に引つ越してきて数日。

僕が第二使徒を倒して数日。

使徒との戦いで病院に入院してから数日。

そして

エヴァンゲリオン初号機に乗って数日。

僕は今ネルフの作戦部長 ミサトさんの家に住んでいる。ミサトさんはかなり大雑把な人で部屋もかなり汚かった。だからミサトさんについては、いい加減な人という認識がない。

でもミサトさんはよくわからない。いきなり僕の面倒を見るとか言ったり、一緒にインスタントの集まりでできた夕飯を用意して僕を祝おうとしてくれたり…。

僕の事を元気づけようとしてくれているのだけれど何でだろう。僕とは初めて会うはずなのに何であそこまでしようとするのかな。やっぱりよくわからないや。

そして今日は学校行ったら、トウジだったけな。いきなり殴られた。何か妹がこの前の僕とエヴァとの戦いで大怪我をしてしまったらしい。殴る理由としては正しいかもしれない。

でも…

僕だってエヴァなんかに乗らなくなかったんだ。

あの時は白いプラグスーツを着た女の子、綾波 だっけか。あの子が大怪我をしているのにも関わらず父さんは無理矢理初号機に乗せようとしたんだ…。あんな包帯を体に巻いているのにも関わらずだ。

そんな光景を見せられたら…何もできないわけじゃないか。

使徒の攻撃で揺れる地面。

崩れ落ちるように地面に落ちる綾波。

気付いたら身体が勝手に動いていて綾波を抱きかかえていた。

僕の腕の中で、荒い息を吐く。手に感じる熱い液体、血。

あの子、大丈夫だったのかな…

「シンジくんただいま」

ミサトさんが帰ってきた。

僕の腫れあがった頬を見て、暫く押し黙る。

「シンジくん、それ、どうしたの？」

僕の目をジッと見つめる。

「何でも、ありません…」

そんな視線が気まづくなつて、僕は目を反らす。

「そう…」

ミサトさんもこれ以上問い詰めることなく、買ってきたインスタントの夕食を用意していく。

やっぱりいつも夕飯はインスタントなのかな。台所を見る限り、使われた形跡はなかったから、多分そうなのかもしれない。

正直これからずっと、インスタントは嫌だな…。これだったら自分で作った方が良くもしいれない。明日辺り朝ごはんでも作ってみようかな。

「ミサトさん…」

「ん、どうしたのシンジくん？」

「あの…、明日…その、台所を使わせてもらっても…良いですか？夕飯を並べる手を止めて、僕の方を見て目をパチパチさせている。何か変なこと言ったかな…？」

「勿論、良いわよ。シンジくんお料理作れるんだ」

「はい、先生の所に住んでいた時に教えてもらったんです」

僕は此処に来る前は、父さんの知り合いの先生と一緒に住んでいた。そこで料理とかは自分で作っていたから、僕の得意な事の一つになった。

「それじゃお弁当作ってくれないかしら？いつもコンビニ弁当なの

よね。いい加減あきてきたところだし」

「良いですよ…。何か希望はありますか？」

「何でもいいわよ。シンジくんの作りたいもの作って頂戴」

「はい」

こうして僕は明日の朝、弁当を作ることになった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8063x/>

---

EVANGELION Normal Days

2011年10月22日02時21分発行